



虹の架け橋

平成30年5月22日
印西市立西の原小学校
校長室便り No.5

心に響く音楽集会



5月19日(土),今年度第1回目となる音楽集会が行われました。発表学年は2・4・6年生です。

音楽集会は、西の原っ子委員会の子どもたちの進行で始まりました。まずは、全校合唱「さあ はじめよう」です。そして、いよいよ2年生の発表です。始めにチェコスロバキアの曲「アンダルコの歌」を合唱奏しました。演奏した楽器は鍵盤ハーモニカ、鉄琴、木琴です。テンポの速い曲ですが、階名でもよく覚えて歌っており、演奏もとても上手で驚きました。また、「青い空にえをかこう」では、元気な「エイヤ-」のかけ声とともに、「夢を大きくもってがんばろう」という気持ちがとてもよく伝わってくる合唱でした。



4年生は、始めに「はじめのいっぽ」を合唱しました。この曲は私の大好きな曲でもあります。「信じることを、忘れちゃいけない。必ず朝はおとずれるから。ぼくらの夢を、なくしちゃいけない。きっといつかはかなうはずだよ。はじめの一步、あしたに一步。今日から、何もかもが新しい。はじめの一步、あしたに一步。生まれ変わって大きく一步、歩き出せ」…この曲を聴くと、がんばろうという勇気がわいてきます。その曲を二つのパートに分かれ、透明感のある声で歌い上げた4年生。実は、昨日の練習で聴かせてもらった時、既に最高のできばえだと感じ、100点満点をつけたかったのですが、本番前ということで若干差し引いた点数をつけさせてもらいました。当日は、さらに磨きがかかり200点超え、300点超えという感じでした。「まほうのすず」の合奏もリコーダーと鉄琴・木琴の音がきれいに重なり、見事に魔法の鈴の音を奏でていました。



6年生の合奏曲は「ルパン3世」です。初めて練習を聴いた時、ずいぶん上手だったので驚いたところ、5年生の時から練習をしていたそうです。たくさんの楽器がとてもしずみカルに演奏されていて、思わずルパンが「ふじこ〜」なんて言って飛び出して来るように感じました。(この感覚がわかる方は、私と年代が近い? かもしれません。) 合唱曲は「花が咲く」です。東日本大震災の後、被災地の復興を願って作られた曲です。死者・行方不明者を合わせると2万人近くの人々が犠牲になった災害です。日本中の人々が被災地の方々のために何かできることをとっていたのではないのでしょうか。震災が起きたのは7年前。6年生はまだ5歳でした。「花は咲く」の歌詞に込められた思いを理解することは、少し難しかったかもしれません。けれども、歌い込んでいく中で、子どもたちは歌の心を感じ取ってくれたように思います。それが、とても柔らかな優しいけれど芯のあるハーモニーとなって伝わってきました。



それぞれの学年のすばらしい発表の合間には、西の原っ子委員会の企画による「さあみんなで」「もたらろうさん」「あんたがたどこさ」の楽しいリズム遊びがありました。最後は「世界がひとつになるまで」「未来へ続く道」を全校で合唱しました。心が一つになるような迫力のある全校合唱でした。

今まで「花いっぱい」「歌声いっぱい」「笑顔いっぱい」「輝きいっぱい」をキャッチフレーズに歩んできた西の原小学校の子どもたちに、育てている心と力を感じた音楽集会でした。そんな歌声や笑顔・輝きの素晴らしさを継承しつつ、さらに豊かな心、生きる知恵、たくましい体を育てていきたいと思いました。ご参観くださいました皆様、ありがとうございました。



西の原っ子委員会の皆さん、ご苦労様でした!

親子美化作業へのご協力ありがとうございました!

5月19日(土)、心配された雨にも降られず親子美化作業を実施することができました。300人を超える保護者の方のご協力により、校庭がとてもきれいになりました。美しい景観は美しい心を育みます。子どもたちをとりまく環境がすさんだものにならぬよう、美しいものであるよう、教職員と子どもたちでまたがんばって参ります。ご協力に心から感謝申し上げます。

